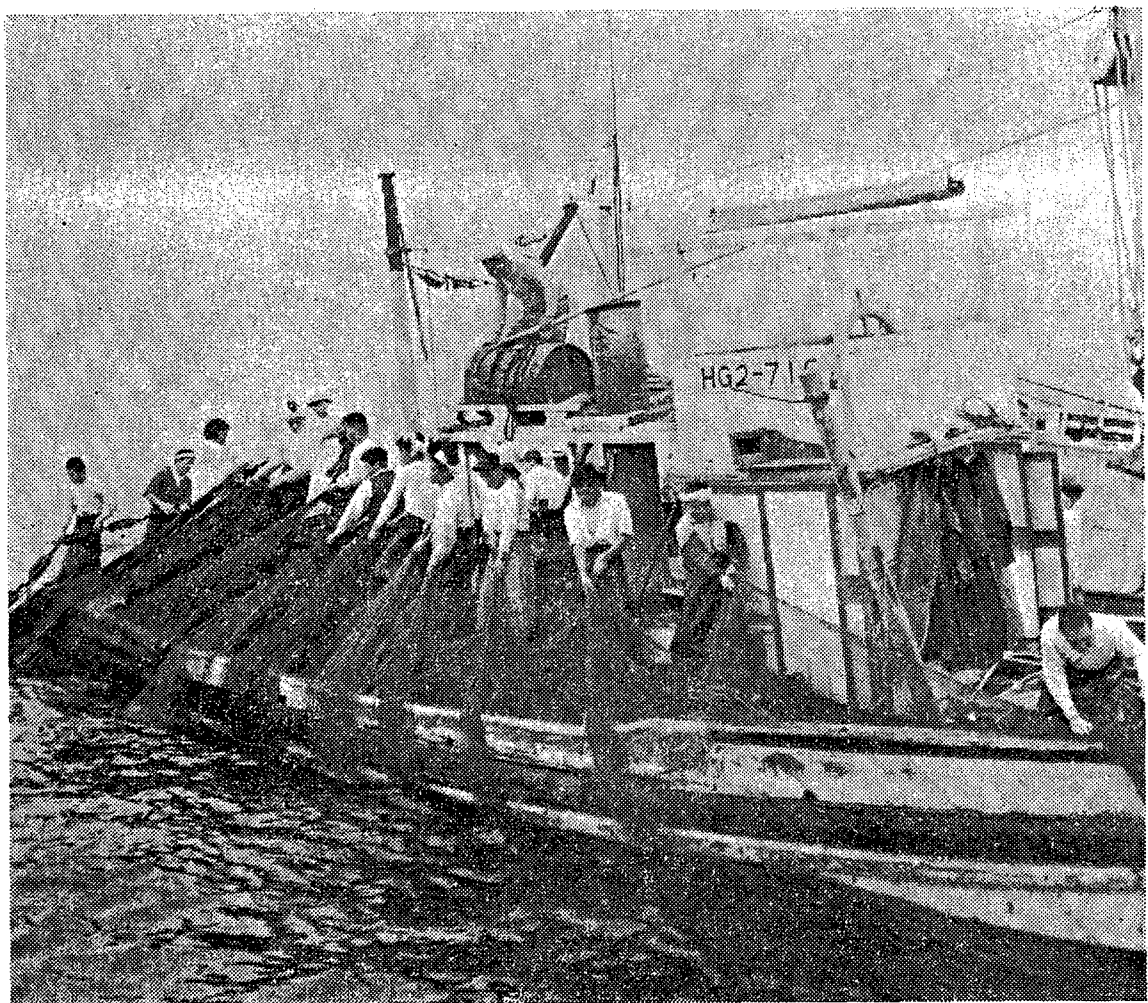


水拓

十月



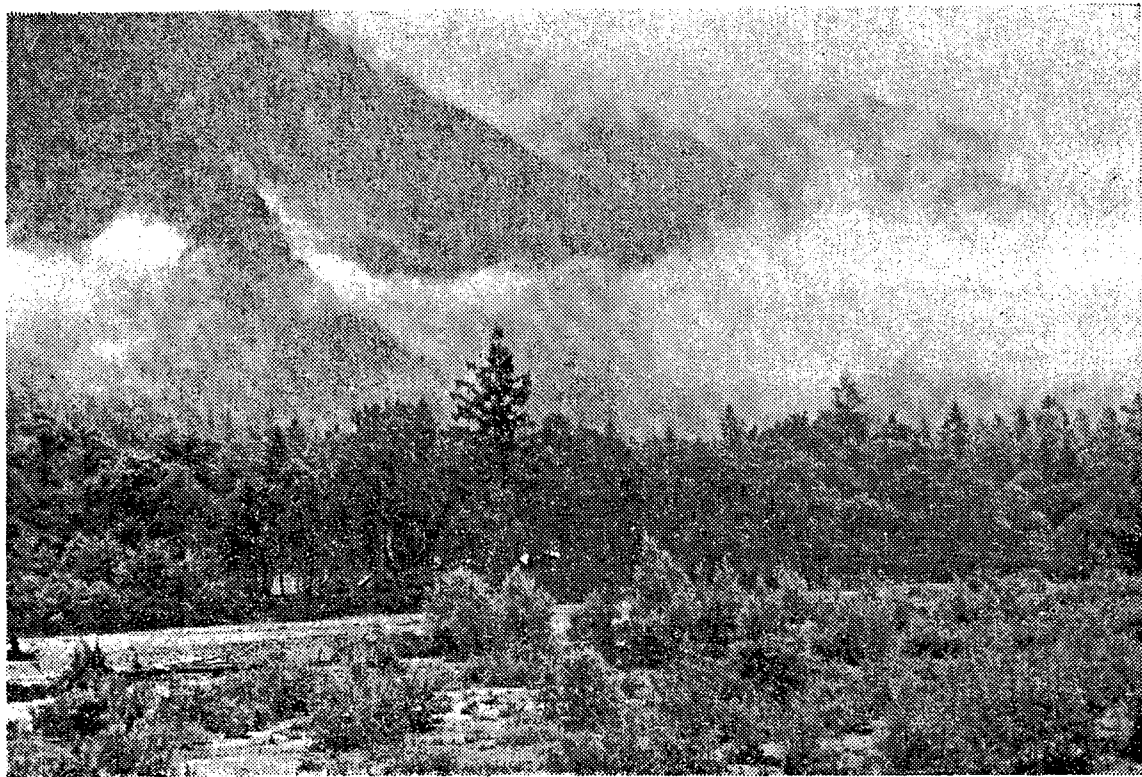
第一卷

第三号

昭和三十一年十月十五日発行（月刊毎月一回十五日発行）

一部十円

兵庫県漁業協同組合連合会



(俳句)

「火の國」松本卓川

馬の背に乙女恥らひ阿蘇涼し
 草履買ひ登山の列の尾となりて
 箕水掬ふて飲みぬ登山宿
 阿蘇涼し牛の群来るバスの駅
 ラムネ玉音立て登山の渴いやす
 噴煙の夏空に尽く大牧場
 煙噴く地鳴りが雲の峰誘ふ
 遭難の墓標傾き阿蘇涼し
 外輪山屹てり盆地の稲青し

唐津にて

競艇の爆音闘ひ湖涼し

博多にて

花火見ん群の流るゝ廊町
 遠花火博多の街は橋多く
 花火見て疲れし顔にネオン塔

有明海

干潟遠し術なき舟に夕立雲
 干潮の海水浴場赤旗立つ

別府航路

振るテープの束を抛りぬ夏の航
 テープ尽き尾は夏海に喰はれけり
 日覆して輪投げに興ず船たのし
 航跡を故郷に曳きぬ夜光虫
 桃の種棄てゝ航跡しばし見る

最近「沈黙の世界」と云うフランス映画が話題をにぎわしている。昨年上映された「青い大陸」と同じような海中探検のフィルムである。何れも地中海、紅海、赤道海域等の低緯度地方の海中にカメラを引き入れて従来研究者や潜水専門家のような極く一部の階層の人々にしか知られなかつた未知の神秘の世界を広く大衆の眼前に展開したものとて興業映画に新時代

を画した新しい試みであつたし、今後も益々盛になるであろう。すでにソ連は日本海に於て水中映画の製作

に着手している。地球の表面の三分の二は茫洋たる海洋に覆われているが、我々の海に対する知識は陸のそれに比べて余りにも貧弱であり、海の科学の進歩は極めて遅れている。水産業に例を取つて見ても同じ原始産業部門の農業に比して科学や技術の手のとどいていない分野が多すぎる。これを単にその特殊性のみを理由として措却し去ることは今や原子力時代に突入せんとしている日進月

水中時代

水産課長 森 沢 基 吉

歩の世界の動きから見て許さる可きことではない。映画「沈黙の世界」の監督、フランス海軍のクストウ大佐は一九二五年圧縮空気を携行して自由自在に潜水の出来る簡易潜水器アクアラングを発明し水中の作業、研究、写真撮影に前人未踏の新分野を開いた。アクアラングは元来軍事目的のために考案されたものであるが、遠い昔の地球の創生期に水棲生

物から進化して陸にあがつてしまつた人類をその生命の起源である母なる海の中へひきもどす最も強力な媒とならうとしている。今や科学は勿論のことスポーツも、娯楽や趣味としての写真術もあげて水中時代に入らうとしていることは海を相手に仕事をする我々水産関係者にとつては真に喜ぶべき傾向と思われる。海は依然として神秘のベールにつゝ

まれた世界であるが、ここに新しい科学の目と輿論の焦点を導入して行くことは特に地上の資源に恵まれな我国の将来にとつてゆるがせに出来ない重大事であろう。残念乍ら外国人に先手を制せられた形であるが海を拓く以外に生きる道のない日本人こそ最新の科学の武器を活用して沈黙の世界の扉をひらく使命が科せらるるのに最もふさわしい民族でなければならぬ。アクアラ

ける海中測量に始めて使用されたのを皮切りに、その優秀なイメージオルシコンカメラの改良と相まつて水中時代の花形とならうとしている。船上にあつても海の資源や漁具の実態を手取る如く自由自在に研究出来る輝しい時代の暁がすでに訪れた。水中時代の到来がひいては漁民に幸福を少しでももたらして呉れる期待をお互に美しい正夢として持ちたいものだ。

目次

水中時代……………1
森 沢 基 吉

但馬沖における
一本釣漁業の行方……………2
松本卓三

単協職員の苦衷……………4
A 漁協 N 生

ニュース……………5
漁民に厚生福利施設を……………6
釣 賤 雄

育英会の運営について……………6

漁業金融に努力……………7
走り出した村づくり……………8

但馬沖における

一本釣漁業の行方

一本釣は苦しい

但馬沿岸の一本釣漁業は、従来恵まれた環境において年々発展して来た。恵まれた環境とは、さほど遠方の港まで出漁せず、毎日少くとも一回は家族と同席で食事をとり、しかも盛漁期と呼ばれる三月から十一月頃までの期間に稼いだ金で年間家族の生活がやつてゆける状態であったからである。しかしこの漁業者達にも、すでに各地の沿岸漁業が資源枯渇のため行詰りを生じ、どうにも打開出来ず手を擧げている状態が、昨年頃よりこの地方に襲い掛つて来ているのである。加うるに、漁村の次男、三男坊の漁業への就業に依つて、漁船数は漸増し、生存競争が陸上社会のそれと交ることなく、自由に行われ、漁船の屯数は一屯未満から三屯五屯と増大し、機関馬力も電着の七、八馬力が、ディーゼルの十五、二十馬力と増加するに至つては、もう収支採算の事など熟考する暇さえなく、借金をして代船を建造し、日々の燃料費や諸経費の詰むのも忘れて競争の渦に巻き込まれている。至近な例は、昨年建造した漁船が今年ではもう屯数、機関、馬力共人

並より落ちてしまうと、旧債の還付が終らないのに、また借入金をして漁船建造の計画を始める。そして古い船は安く他港へ売却つて、亦重い借金の枷に泣いている実情である。

不漁の原因は？

但馬沖の魚族は年々減少している。但馬の沿岸漁業者が、丸子と呼ぶ無動力漁船の時代から釣り続けて来たサバやアジは、もう全然と言つてよい位姿を見せなくなつた。

これは対島漁場や山陰沖で操業されている夜焚巾着網漁業の影響だと漁業者は言つている。夜焚巾着網漁業で毎日何万貫、何十万貫と獲られては、サバやアジは回遊して来ないし、年々減少してゆくのは当然と思われる。亦唯一の命の綱と頼んでいるイカは距岸十漕から二十漕の沖合に出漁することによつて、過去三、四年間は驚くほどの漁獲があつた。その頃細井前漁政課長は「イカは日本海の芥だ」と冗談をとばしていたが、連日その漁獲は数千貫に上り、吾々はこれによつて、一本釣漁業は安定した業種になつたと、ホッと安堵の胸を撫で下したもので

ある。斯うしたイカ景気に乗つた一本釣漁業は底曳漁船乗組員からの転向、漁業者近親者の転業等によつて、前述の次男、三男の就業と合せて、漁船隻数は急激に増加したのである。無秩序な釣漁業者の増加は必然的に漁場を狭少にした。そして優秀なる漁船によつて、他人より漁獲を多くする考えが漁業者を支配するようになつた。然しこれも引続きイカ漁があればこつた考えも固に當つたであろうが、漁況は皮肉にも大きく逆転してしまつたのである。昨年のイカ漁は前年に比して半減したが、漁業者にはまだ望みがあり、夢があつた。「来年こそは儲けて借金を返さねばならぬ」と、一方「イカの少いのは夜焚巾着網の故であろう、あのように強い電燈を使えば、光に對しイカは感覚が無くなる」との迷説が出れば、それに雷同するような気持ちもなつてくる。

漁業者は漁獲のあるときは、盛んに強がりも言えるし、経済面に於ける力も強いが、反対に漁獲が少いと意気銷沈してより処を失い、色々な流言に惑わされている。イカの漁獲が多くなつたときは「昔から沖へ出れば獲れることは判つていたが、舟が小さくて出られなかつたのだ、イカ等は毎年獲れるものだ」と言う。言われて見れば吾々も聞いていて成る程と思ふ。亦反対に少くなれば、夜焚巾着網の故だと言う。

調査研究機関に望む

もちろん不漁の原因は、漁業者の考えられていることも妥当であると思われるが、これも潮流や水温が大きな原因ではないかと思われる。然しこの潮流や水温について漁業者を納得させるだけの調査や報告が行われていない。今年はいかの棲息に適温である潮流が、何漕から何漕附近を通つているから、何漕位出ればイカは豊漁である。また反対に適温の潮流が相対沖合を通つているから、沿岸では不漁であると言ふような調査報告が行われれば、漁業者はどんなに心強いことであろうか。亦これによつて今年の漁獲が潮流による不漁であるか、夜焚巾着網漁業等による人為的な不漁であるか判断が出来て、将来の対策の一助にもなると考えられる。ただ豊、不漁の原因が「潮流の原因であると思われる」と言うような報告は、其の場限りの言ひのがれに外ならず、こんな報告では全く横着な、責任のないものである。海に関する調査研究は、全く地味な仕事であるが、名医が患者に話すような懇切な説明が望ましく、水産研究所や県の水産試験場も予算を持つて、研究のための研究でなく、直接漁業者に結びつく、生きた調査研究を実施して貰いたい。

漁獲高の推移

さて昨年は唯一の魚種でイカの漁獲が

激減した。然し秋に入つてからイカに代つて、ヨコワが漕釣で相当漁獲されて漸く前年に比して、八一%の金額を上げてゐるのである。参考として、最近四カ年

間の香住町漁業協同組合に於ける一本釣漁業の漁獲高、所得金額等は次の通りである。

一本釣、延縄漁業の漁獲高、所得金額調査

年度	漁獲高		着業		同上一隻当り	同上一隻当り	同上一隻当り
	数量	金額	漁船数	数量			
昭和二十七年	五、四二四、八四〇、〇三三	一、一〇〇、〇〇〇	一、一〇〇	三、五五五	二、六四〇、七四〇	一、一〇〇	六六%
二十八年	五、四三三、五三三、〇五〇	一、一〇〇、〇〇〇	一、一〇〇	三、三三三	三、八八七、七三三	一、一〇〇	六五%
二十九年	五、六二七、八三三、〇六八	一、一〇〇、〇〇〇	一、一〇〇	二、七三三	三、九八八、八三三	一、一〇〇	六二%
三十年	五、〇三三、四三三、〇六八	一、一〇〇、〇〇〇	一、一〇〇	三、〇三三	三、〇三三、四三三、〇六八	一、一〇〇	五七%
三十二年	前年比 八五% 四	推定	推定	推定	推定	推定	推定

註 着業漁船数は一応周年操業船を基準とし、季節的に着業する底曳船員等の漁船は、三隻を周年操業船一隻と換算して計算した。

以上の如く漁獲数量及び漁獲金額は、其の年々により増減はあるが、昭和三十年度は、魚価の低落等もあり一隻当り漁獲金額は激減、更に所得においては新造船建造費の利息及び、船体償却費の控除、必要経費の増大等に伴い、所得率が減少して、いよいよ一本釣漁業者は、生活費の捻出さえ出来ない状態に立到つた。

不安定な漁業収入

一本釣等の漁業収入と言うものは全く予想することが出来ない。漁があり過ぎても魚価が安く採算がとれず、「豊漁貧乏」と言うようか有難くない言葉があ

る。私は漁業者以外の人からよく「海から獲る魚は、もたが只であるからよく儲かるでしょう」と言われる。回遊して来る魚を擬似餌で釣つたり、網で旋いて獲つたりするので、そんなように考えられているのかも知れない。その点百姓は収穫までには、田畑を耕し、種を播いて肥料を与えたり、除草したり、或は殺虫剤を撒布したり、見ても仲々大変だと思われる。然し百姓は年間収入の予算が樹てられる。即ち耕作面積に対して平年作を見込めば、颱風や特別の天災のない限り、算盤通りの収入が入るし、農作の収入の少ない人は他で収入を得るように平

素から考えて居り、生活もそれに依つて賄つてゆくように工夫している。之に較べ漁業者は海で生活して行く能力があるが、不漁等で陸で稼がねばならぬときは鵜が河原に上つたようなもので洵に頼りない。

他府県への出漁

さて本年の漁獲はどうであるか、昨年悪かつた漁獲は本年に入り更に下降の一途を辿つて居る、一本釣、延縄漁業を見ると、一月から八月までの漁獲高は、前年に比して八六%となつて居るから、本年の収入見込は前年の八五%程度で、所得額は平均一四万円以下と推定される。斯うした境遇に迫られると、海に生きる漁業者として、矢張り他府県の漁業者が行つて居る通りに、魚群を追つて漁獲すると言う方法を採らざるを得なくなつた。

但馬の釣漁業者は、貝の殻に立てこもつて自分の漁場のみで働き生活して来た関係から、独善的な思想と排他的な考えが強い、それだけに研究心も強く、但馬の釣漁業者の今日を築いたのであるが、他港へ出港すると言うことは、漁業者の考へ方においても、大きな転換を来したと言わねばならぬ。他港への出漁は、既に一昨年頃より一部の人が、島根県仁万港方面に出かけて居るが、これも好成績を得ることなく、「出漁は経費が高んで、金は家計の足しにならぬ」との古老の言

葉を裏書きする結果になつて居る。しかし但馬沖に漁獲がないと言ふ背に腹は替えられぬ羽目に陥入り、仁万港の対島出漁船(季節的に出漁)の漁獲様や、淡路の対島出漁船の話を書いて「対島へ出漁しては」と言う話になり、少壮の有志が相謀つて対島出漁を計画したのである。勿論漠然とした話に花が咲いた訳でもなく、責任者は仁万港、仙崎港に調査に行つて、緻密に研究してからのことであるので、吾々は航行、或は漁獲成績について安心してよいと考えて居る。対島への集団出漁は、本組合は始めてのことである。他港へ出漁することは、組合の発展について考へると決して利益にはならない。吾々は組合員の漁獲物が全部組合へ搬入されることが、組合の発展であると考えて居る。それだけに漁獲させることは心苦しいが、現実に行かざるに漁業者の姿を目前に見ると、これは束縛すべきことでもなく、むしろこうした危機には組合員個人々々が脱落しないように、保護すべきではないかと考えさせられた。

平素私は組合の利益即組合員の利益と考へ続けて来たが、時には矛盾のあることも知つた。出漁に當つては、淡路佐野漁協の塩崎組合長さん、県の吉中技師に來但を願ひ、淡路の対島出漁船団の操業実績について報告や、体験談を聞いたが約五、六十名の業者が熱心に聞き、時刻の経つのも判らない状態であつた。特に

塩崎組合長の「女の誘惑に負けないように、懐に入つた金は直ぐ家に送るよう」に」との注意が、対島方面の環境の悪さを指して言われたものとして苦笑し乍らも至言だと思つた。第一船団は十一隻が一団となつて九号颯風で急に涼しくなつた八月二十三日、半歳の月日を対島で操業するために、家族の者に見送られ乍ら出航し、次いで九月二日六隻の漁船が第二船団として対島へ出漁した。合せて十七隻の漁船に三四名の組合員が乗組んでいる訳であるが、始めてのことであるだけに、その成果を大いに期待している。

自活の途も

泥縄式はダメ

それにしても、もう但馬沖にサバやアジ、イカが再び一本釣漁業者を潤す程回遊して来ないであろうか？現在の漁獲状況が明年も続けば……想像するだにおそろしい現実が、足音を忍ばせて近づいてくるように思える。これは但馬沖だけの問題ではない、否但馬沖はまだ恵まれていたのだが、既に日本の到るところで、漁業者が泣き舞めいているのだ。「沿岸から沖合へ、沖合から遠洋へ」の水産庁のスローガンの下積になつてはいる沿岸漁業に、何等かの対策が講ぜられねば、漁村は永久にドン底の生活に追込まれるのではないかと考えさせられる。鯨を見れば鯨、鮭鮠を見れば鮭鮠に、或はサンマを見ればサンマにと、一獲千金の夢を

追い着業し得る漁業者はまだ幸である。埋もれた沿岸漁業者に生きる道が拓かれるよう、国も県も力を入れて貰わねばならない。然し業者が手を拱いて何時行われるとも判らない国や県の救助を待つてゐる予備もない現状であれば、自らの力で生きる道を拓いていかねばならぬ。

但馬においては、泥縄式な考えであるが、網漁業への転換、或は機船底曳網漁

単協職員之苦衷

— A 漁協職員N生 —

船への乗組（これは若い人に限る）か、亦有益な副業を研究して収入を図ることも一策と言えよう。何れにしても、将来性に乏しい漁業丈に、漁業者の考え方、生活の在り方についても觀念の切換が必要であると思ふ。

（香住町漁業協同組合参事）

松本卓三

（過）般私は新聞記事の「新台湾」と題した所を何気なく読み大いに感ずる処があると共に、国府の政治力の偉大さに感心致しました。次にその一端を述べてみたいと存じます。「台湾という所の過去はホテルのボーイからして油断がならなかつたが今は財布を放り出しておいても心配はいらない。犯罪は絶えたというのではなく非常に少なくなつてゐる。無論教育のためでもなく又取締りが行届いてゐるのではない。生活の安定により盗む必要がないのではあるまいか」又共産中国でも犯罪は激減して泥棒などなくなつてゐると旅行者は異口同音に伝えていま

す。それに反して日本は如何でしょうか、生活苦による犯罪者の増加、一家心中等々と毎日の新聞をにぎわしております。敗戦後の日本も文化或は生産面にのみましては戦勝国に勝るとも劣らぬ程進歩向上しております。而しながら生活面は戦勝国のように安定したものではありません。毎年定期的に何々労組、何々職組だとか教組等は、スト指令のもとに事業主を相手どり闘争している事でも分ります。この様な団体は闘争委員を選び委員は自己の持場に居る事なく各所へ交渉に出歩いております。一方我々単協の職員にも只一カ所淡路地区に職員組合が

誕生しましたが、この職員組合は賃上要求をするための物でなくお互の仕事上の情報交換をする為のものであります。単協職員の日常の労働時間は無制限であり給与ベースも一般賃金ベースを下廻つております。然しながら組合事業運営には各員渾身努力をを思ひます。この点に思いを致されまして諸物価の変動、社会状況に即応した線に準ずる様に、私は県の組合係の方や、連合会、全漁連、単協組合幹部の方々に御取り計い方をお願いしたいのであります。現状のままではそれ等の方々に我々の生活状況がおわかりだろうか疑問をいただきます。前年度でしたか先山へ宮城先生をお迎え致しました時に「全国的に漁協職員の給与ベースは誠にお気毒な事だと同情します」と申されましたが、これが対策を取上げてくださらないのかと遺憾に思つております。この如き苦難の職員も勤める仕事は真面目に忠実に組合に対して大過のないよう心掛けて務めている事実を耳にして吾々同志として誇示してまいります。

子が親にあまえる様にあまえない気持ちと、医者に見捨てられた病人になりにたくない気持ちと、皆さんの救助の手術をして戴きたいと念願致すものであります。暗雲たれこめ降雨の瞬間に太陽の光明の如き救助の手がさしのべられればどんなにか秋の清々しさを感ずる事でありましたよう。

第一回漁協組婦人部大会

昨年来県下の漁業協同組合婦人部結成の数も本年九月末までに三十余になつた。此れ等婦人部の連合協議会を開催して漁村婦人の地位の向上と相互の連絡強化をはかる目的で、左記要領により開催される事になつた。

○日時 十月廿六日

自十時 至十四時

○場所 県立水産会館四階会議室

○参集者 各漁業協同組合婦人部代表者及び関係者

○主催 兵庫県漁業協同組合連合会

○後援 兵庫県 兵庫県信漁連 兵庫県内海漁連 但馬漁連

○大会規定

- 1、開 会
- 2、主催者挨拶
- 3、来賓挨拶
- 4、経過報告
- 5、議長選任
- 6、実績発表(各代表一人十分)
- 7、協 議 (約三十分間の予定、講師離生活協同組合永谷晴子女子)
- 8、講 演
- 9、宣言決議
- 10、閉 会

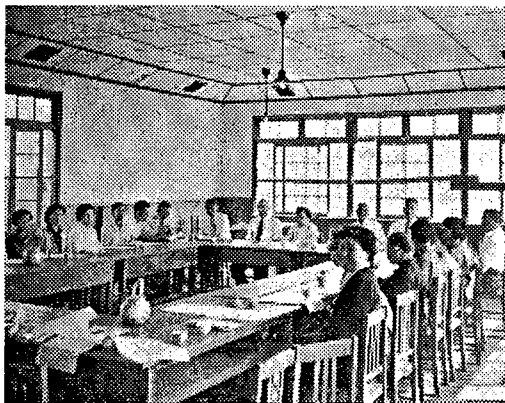
製氷、貯氷 増設工事完了

津居山漁協組

事業の進展により狭隘を感じ昨秋より製氷設備及び貯氷庫の増設工事を実施していた津居山漁協組では此の程予定通り工事が完了したので十月十四日午前十一時より製氷工場に於て竣工式を挙行した。

淡路海区漁協組婦人部連合会役員会

十月廿六日の県下漁協組婦人部大会を前にして淡路海区漁業協同組合婦人部連合役員会を十月五日洲本市炬口の淡路海区漁業調整委員会の事務所で行われた。



カナダの海流びん オニが笑いそう

北太平洋の表面海流の動きを調査するために、今年から来年の四月にかけて、太平洋の東北部で、カナダの海流びんが一五、〇〇〇本投入されることになった。これが日本に到着するに一年以上の長い期間がかかると思われるが、もし発見したら、拾いあげて漁業協同組合に届けること。

海流びんは、透明白いビールびんで、コルクの栓をし、ピッチで封印してあるが、その中には明るい色刷りの返信用の葉書が入っていて、これに発見の日時と場所等を記入して知らせたら報酬がもらえる事になっている。(T)

第一回内海但馬両漁連職員協議会

十月廿六日第一回県下漁業協同組合婦人部大会終了後水産会館に於て、第一回内海但馬両漁連職員協議会が開催される。協議会の目的とする所は

- 両漁連の緊密な事業経営の掛け合いを計る事
- 漁連事業のあい路となる経営上の諸問題の協議
- 両漁連職員相互間の意見交換等を計る事にある。

組合長の移動

沼島漁協 前 三宅役藏

新 扇 協

住所変更

都志漁協 旧 都志町方才四八三

新 五色町 //

鳥飼漁協 旧 鳥飼村鳥飼浦三六

新 五色町 //

藻川漁協 旧 尼崎市今福太田四

新 // 平ヶ市一三二

ラジオ神戸

農漁村の番組

10月24日	6時10分〜25分まで	漁船機関の話	杉本 技師
31日		ノリ養殖の心得	浜口 技師
11月7日		アナゴの話	藤沢 技師
14日		今日の漁況と海況	浜田 技師
16日		第23回全国水産品評即売会について	対談

漁民に厚生福利施設を

飾 磨 漁 協

釣 賤 雄

日夜増殖生産に敢斗しています漁民にも、健康保険制度や福利施設等を設けて戴きたい。

板子一枚下は地獄のたどえの通り風浪を犯し悪天候と斗いつつ生産に増殖に全力を擧げて居られる漁業者各位の一家の大黒柱が一旦病魔に魅入られたならば、その日より医薬代は勿論の事生計を立てるにも事欠く方々が多く有る事と思いません。斯る深刻な状況の下に医薬代程生計をおびやかすものはありません。一家の働手は勿論、家族の方々にも健康保険制度を施かれ安心して後顧の憂いなくからしめて、全身全霊を漁業に打ち込み生産増殖に専念出来る様な制度が実現致します様に希望致します。幸いにして漁船には保険制度があり事故発生時の損害負担の軽い様親心を以て当られて居りますが、之れにも増して人の健康問題は重大であると思いません。漁民にも健康保険制度を実現され安心して出漁出来る様な制度樹立の一日も早く実現致します事を切望して止みません。為政者の御善処の程お願い

申し上げます。

漁民が日夜就漁致し、天候の都合で稀には休漁し映画へでもと慰安を求めるときはあります。此のような時に於ても労働組合等が結成されています団体の従業員等は、全市共通(阪神間)二〜三割の観望割引を以て格安に慰安を求められる特典がありますが、漁民は一般料金を以て入場せねばなりません。同じ労働者に於てかかる不公平なく共に慰安を求め明日への活力を養える制度、恩典がないものでしょうか?皆様の御一考をお願い致します。

御投稿御願

拓水も本号で第三号になりました。拓水は組合相互間の意見の交換や、組合員、組合役職員の方々の御忌憚の無い御意見等の発表機関として大いに皆様に御活用願いたいものと念願致してをりますので、どしどし御投稿下さいませ。御願ひ致します。〆切期日は毎月五日です。(五日迄に到着の分は其の月に掲載する予定です。)(編輯係)

育英会の運営について

財団法人 兵庫 県 漁村 育英会

水産振興基金を基として始められました漁村育英事業も本年で足掛五年を経過しました。現在まで卅五の組合より一六五名を採用し、すでに七三名を社会の第一線に或は上級学校に送り出しております。他府県に類を見ない此の独自の良い制度を永続して行きますためには、貸与を受けた育英生が返還金を規程通り返還する事にかかつてをります。此の点を各育英生が充分なつとくし、実行してもらふ事は勿論であります。推薦されます組合長も此の点を充分認識して戴きまして返還に閉して推薦組合に迷惑をかけないと言うような誠意のある者を推薦して戴きたいものだと思います。本年四月の役員会、評議員会でも返還金の事が取り上げられ、貸与規程の一部変更を行う事になり推薦組合長にも返還について責任を持つて戴く事になりました。九月末現在で規程通り返還の行われていない組合も二、三有りますが、此のままではすまされぬ重大な問題です。

何故このように返還金の事を喧ましく申しますかと云えば、数年後に於て返還金額と貸与金額とが同じになる予定ですので、返還金が予定通り入らない場合は貸与の方にも大いに支障が生じて来るので、即ち継続貸与生には優先的に貸与を行わねばなりませんので、先づ其の年間貸与総額を確保します(最悪の場合は此の分にも支障を来たす事も考えられます)此の場合新規採用者の予算は大いに削減され極端に考えますと新規採用者が一名も取れない事態の生ずる事も考えられます。此のようになりましては本会設立の趣旨にも反しますし、水産振興のためにと県当局へ御寄附下さいました県下漁業者の皆様のお偉い気持をも踏みにじる事にもなりますので、このような事態の起らぬよう育英生、推薦組合長、本会事務局の三者協力して育英会の永続に勉めるべきことこそ水産振興基金を醸出して下さいました県下漁民の方々におこたえするゆえんだと信じます。(一)

漁業金融に努力

…… 県 漁業信用保証協会 ……

新しく設備資金を加える

兵庫県漁業信用基金協会は、県や関係市町村、漁業協同組合の力強い支援のもとに、昭和二十八年六月その業務を開いた。それから三年がすぎ、協会の経営のもとになる出資金も順調に増えており、その信用力によつて漁業金融の円滑化に努めているが、業務の状態からみると、保証の伸びはあまり好ましくないようである。

こうした伸びを阻む要因はいろいろ考えられるが、協会としてはその要因の究明に努めるとともに、関係金融機関の協力を求めて、積極的に事業の拡張をはかろうとしている。

安くなつた保証料

保証融資というのは通常融資にのりにくいものに、保証制度によつて受信用を与えることである。だから保証融資には保証料の負担が加わることになり、それだけ金利が高くなるのだが、それはこういう制度の当然の宿命だといふのかもしれない。しかし保証によつて漁業者の資金融通が円滑に行き、かつ又そうした金利負担が減るようになるならば、現在の沿岸漁業に大きなプラスとなるのは確かである。そこで協会としては、従来保証料を日歩八厘としてい

通常融資と殆ど差がないまでの処置になつてゐるわけだ。

設備資金にも保証

法律できめられた基金協会の目的は中小漁業経営に必要な資金の融通を円滑にするためにとあり、協会が保証できる借入金金は、会員である漁業者の漁業経営をするために直接必要とする資金及び会員である漁協や漁連の事業を行うために必要な資金であつて、なお協会の保証し得る借入金の用途は水産庁の指導方針に基づき業務方法書に具体的に定められてゐる。

(一) 漁業経営上必要な資金

運転資金（漁業用資材の購入・漁船小修理・その他漁業経営上必要資金並びにこの転貸資金）

設備資金（漁船建造、購入改装修理

- ・ 漁船機関換装・漁船機関新設・漁船の無線、魚探施設・漁船の冷蔵、冷凍施設・合成繊維魚網綱の購入）

(二) 漁協及び漁連の事業に必要資金

運転資金（漁業用資材共同購入・集荷販売）

と云うのが従前の定めであつたが、

協会の会員が漁協と漁連だけである関係上右の(二)の事業資金で『設備資金』についても保証が出来るようにとの要望で漁協や漁連の共同施設に必要なとする資金についても、保証が出来るように業務方法書の一部改正の認可申請したが、これは未だ他県の協会には余り例がなく認可について問題があつたが、本県の特殊事情を充分説明し次の通り認可を得ることができたので、これらに該当する共同施設資金の借入に対しても保証し得ることになつた。

(三) 漁協及び漁連の事業に必要な資金

設備資金（共同販売施設・共同加工施設・水産倉庫・給油、充電施設・染網施設）

しかし、漁協及び漁連の事業施設に対する資金措置として、農林漁業資金という政府資金が、長期且つ低利で農林漁業金融公庫から貸付せられる途がある関係から、協会の保証するものは、それ等に該当しない少額のものだけであることはもちろんである。

活用をはかる

漁業金融対策として、漁業融資に

対し、果の利子補給制度がいよいよ実施されることになつて、漁協の購買事業資金及び漁船建造、購入、改造修理並びに漁船機関換装や、漁船の無線、魚探等の漁業者への転貸資金の借入に対し利子補給されるので、この制度によると漁業者の負担する金利は年六分〜七分となる。又この制度は漁業者の金利負担の軽減を図ると共に、漁業用資材の購入も、漁業者への金融も漁協を通してと云う、いわゆる系統利用の積極的

な利用と、漁業者の金融を正常の形に乗せて行こうとするものであつて、この制度の融資の対象は協会の保証ができる資金と全く一致しているのだから、通常金融に乗らないものは、保証付融資によつて、この制度を利用されればよいことになる。そうしたことにより、協会の保証業務は今後一層伸展して行き、いよいよその効果をあきらかにすることになるのである。(F)

走り出した村づくり

特別助成 地域に香住、一宮

いよいよ事業に着手

農林漁業に対する画期的な施策として、今年から大きく登場してきた「新しい村づくり」新農山漁村建設総合対策は、農林漁家の経営の安定と、生活の向上を狙いとして、もり上る下からの力によつて、その成果を、輝かしいものに仕上ようとしている。このことについては、さきに創刊号であらましを記したが、その後、県下二十三の地域指定も終り、特別助成地域に十三が選ばれ、すでに本年度の事業を着々と進めつつある。以下、希望にふくらむ村づくりの経過を眺めてみよう。

一、指定を受けた農林漁業地域

県下で二十三地域が指定をされ、

このうち十三地域が特別助成地域として本年度事業着手することになつた。

水産関係で特別助成地域として内定したものは、次の二地域である。

城崎郡香住第一地域(香住、余部漁業協地区) 津名郡一宮地域(尾崎、那家、江井、山田漁協地区) 又本年度計画を樹立し昭和三十三年事業に着手を予定されている。計画地域として、美方郡浜坂地域(居組、諸寄、浜坂、三尾漁協地区) 揖保郡御津地域(室津、岩見、刈屋漁協地区) 赤穂市赤穂第一地域(坂越漁協地区) この外に予備計画地域として、六地域が指定されたうち水産関係は節摩郡家島地域(家島、坊勢地区) 三原郡南淡第一地域(福良、阿万、灘、沼島地区)

※予備計画地域と言うのは本年度中に計画を立てるための諸準備(新農山漁村建設についての研究会、村民大会、講演会、部落座談会、世論調査等計画樹立に必要な基礎調査)を完了し何時でも発足できるように態勢を整えさせ来年度予算の都合で特別助成地域として追加指定をしようとする地域である。

二、農林漁業地域の選定

基準(昭和三十一年度)

本年度の農林漁業地域の指定は翌年度以降の本事業推進のモデル地域

の育成を目標として、次の事項を考慮して行われた。

- 1、振興計画を立てるのに必要な基本調査、計画樹立並びに事業の実施が合理的に行われる態勢が整備されていること。
- 2、今までの実績に於いて各種補助事業が厳正に行われる見込があること。
- 3、地域内の各種組合及び市町村が事業実施に伴う資金の裏付けが可能であること等

三、特別助成地域の指定

特別助成地域の指定は計画地域(二十三地域)の中から次の基準によつて選定された。

- 1、振興計画樹立に必要な基本調査がおおむね完了していること。
- 2、振興計画樹立並びに事業の実施が合理的に行われる態勢が整備されていること。

※本来であれば計画地域の中で振興計画が承認されてから特別助成地域として扱われるものであるが、本年度は時間的に急を要したので最初より特別助成地域と計画地域に分けて指導を行つた。

四、各地域の経過と現状

四月六日新農山漁村建設総合対策

要綱が閣議決定され、四月二十日同
実施要綱が六月八日同三十一年度実
施要領が決定され、本省係官による
近畿ブロック打合会が六月十八、九
の両日行われ、六月二十一日から七
月上旬の間、県庁内部の各種協議会
が行われ、この対策についての内部
機構が整えられた。その内容はまず
対策推進の主管課が農政課と決定さ
れ、新しく振興係が設置され、こ
れが推進機構として農林部長を委員
長とし、農林部各課長を委員とす
る。「兵庫農山漁村振興対策推進
委員会」が設置され本事業の重要事
項の審議決定を行い合理的推進を図
ることになった。このため委員会に
各課係長よりなる幹事会が設置され
新農山漁村推進事業の企画立案を行
うと共に、各課実務担当者を農政課
に兼務とし、総合的な指導調整事務
に当ることとなった。

地方においては、関係出先機関よ
りなる「農山漁村振興対策地方推進
委員会」が設けられることになつ
た。
七月三日、第一回農山漁村振興対策
審議会が召集され、本年度農林漁業
地域の県案が承認されたので、七月
十一日農林大臣と協議し、ほゞ決定
の見込がついたので七月十八日但馬

七月二十日丹波、七月二十四日播
磨、七月二十八日淡路の四地区に分
け、この対策の趣旨及び計画の進め
方等について説明打合せ会を開き、
各農林漁業地域毎に作業が進められ
た。

1、特別助成地域

七月下旬から八月上旬の間、農林
振興協議会が設立されこれを中心と
し、部落研究会、各種団体別協議会
等が行われ、これ等の意見希望を基
礎として基礎調査及び各種計画との
調整が行われ、八月上旬基本計画粗
案が作られ、これに基づいて八月中
旬、該地域農村振興基本計画書、三
十一年度実施計画書、特別助成事業
計画書原案が作成された。
八月中旬から下旬の間、右の計画書
の審査が県庁関係各課より成る審査
会で検討され、九月六日、第二回農
山漁村振興対策審議会の承認を得て
九月十一日農林大臣と協議が行われ
たが、一部実施設計書に不備な点も
あり九月二十日再協議され原案はほ
ゞ協議整う見通しがついたので、正
式承認はなされてないが一部十月
一日より事業に着手した。
水産関係分で本年度承認を得たもの
は次の通りである。
香住地域

船捲揚施設

一組
三〇〇、〇〇〇

共同荷捌施設

一棟
五三〇、〇〇〇

一宮宮地

一基
二五三、〇〇〇

簡易冷才、貯水施設

二棟
一、六三七、〇〇〇

2、計画地域

計画地域の現段階としては、全般
的には、八月中旬農村振興協議会が
設立され基礎調査と平衝して趣旨徹
底が進められている。
水産関係地区の状況を個々に見ると
次のような状況である。

イ、美方郡浜坂地域

八月中を準備期間とし九月上旬、
町産業課が担当して戸別調査表を全
農林漁家に配布、既存資料の整備が
行われ、九月二十日農村振興協議会
を設置し目下「新しい村づくり」
の趣旨、その方法等をテープレコー
ダに録音し各部落集會に利用して普
及徹底を計っている。十月中旬には
基本調査を完了し現状分析を十一月
上旬に終り、基本計画立案に着手す
る予定で進められている。

ロ、揖保郡御津地域

七月末農村振興協議会準備会が設
置され、八月二十五日正式に同協議
会が発足した。

八月中旬戸別調査表を全農林漁家に
配布、九月末迄に戸別調査を終了し
十月上旬よりこれが集計と平衝して
各種資料の取纏めが行われている。
十月下旬から本格的な基本計画の樹
立に着手する予定で、諸準備に多忙
を極めている。一方管下漁協では戸
別調査と平行して役員会総代会を招
集し、趣旨の徹底にあたっている。

ハ、赤穂市赤穂第一地域

七月末農村振興協議会準備会を設
置し、市役所農林水産課を中心に基
礎調査が進められている。

3、予備計画地域

イ、三原郡南淡第一地域

八月中を準備期とし九月五日農村
振興協議会準備会を設置し、既存資
料の整備趣旨普及徹底の準備を進め
九月下旬より戸別調査表を配布基礎
調査に駒を進めた。

ロ、飾磨郡家島地域

九月二十五日農村振興協議会準備
会的なもの、組織が出来た程度で基
礎調査及び趣旨の普及徹底について
は、準備中である。

以上のように、新しい村づくり
は、明るい希望の色に染まりなが
ら進められている。しかしこれが前
途は、漁民自らの手で、しっかりと
握られ、着実に行われねばならぬだ
らう。
(山)

兵庫県漁業信用基金協会

理事長 三浦清太郎

副理事長 西上重次

神戸市生田区下山手通四丁目(県庁水産課内)

電話 ④ 2191番
県庁庁内 100番

漁船には先づ保険

兵庫県内海漁船保険組合

組合長 三浦清太郎

神戸市生田区下山手通4丁目 水産課内 電話元町④2191番
(夜間) 御影⑧6906番

代船のための満期保険

但馬漁船保険組合

組合長 西上重次

城崎郡香住町香住1552の1 電話香住125番

神戸市兵庫区
新在家町

兵庫県立水産会館

電⑤8301(事務)
電⑤9563(宿泊)